

2024 年度

ヤングエレクトロケミスト研究会・光電気化学研究会

日時： 2024 年 12 月 3 日 (火)

会場： 名古屋大学 東山キャンパス グリーンビークル材料研究施設

主催： 公益社団法人 電気化学会 東海支部

協賛： 名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所

【会場案内】

名古屋大学 東山キャンパス グリーンビークル材料研究施設 (下図 F3 ④)

名古屋市営地下鉄 名城線 名古屋大学駅 徒歩 15-20 min



ルート

名古屋大学駅 2番出口を出て、名古屋大学郵便局前を北に通過



NIC館(C2⑥)とES館(C2④)の間を通り抜ける。



ES館(C2④)と工学部5号館(C2③)の間を通り抜ける



工学部5号館(C2③)と環境総合館(D2②)の間を通り抜ける



暫く道なりにひたすらまっすぐ進む



左手側に会場が見えます。(真横に大きい駐輪場がございます)



2024年度 ヤングエレクトロケミスト研究会・光電気化学研究会 プログラム

13:00-13:20 受付

13:20-13:25 開会式 東海支部 支部長 市野 良一

13:25-13:30 ご案内 東海支部 支部長補佐 萩尾 健史

13:30-14:30 招待講演①

燃料電池への想い、研究、未来へ

p. 6

名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授 川角 昌弥

～ 小休憩 ～

14:35-14:50 一般講演 01

シリカマトリックス内包 Water-in-salt 疑似固体電解質の合成と電位窓

p. 7

(信州大学) ○杉山 貴矢, 村松 佳祐, 杉本 涉

14:50-15:05 一般講演 02

色素増感太陽電池のゲル電解質における酸化物ナノ粒子の添加効果

p. 8

(静岡大学工学部) ○伊作 凜太郎, 昆野 昭則

15:05-15:20 一般講演 03

低毒性 Ag-Ga-S 量子ドットの液相合成と青色発光素子への応用

p. 9

(名大院工¹, 阪大院工²) ○都澤 諒¹, 大藤 秀斗¹, 秋吉 一孝¹, 亀山 達矢¹,

上松 太郎², 桑畑 進², 鳥本 司¹

～ 休憩 ～

15:40-15:55 一般講演 04

Optimizing Near-Infrared Emission of Ag_8GeS_6 Quantum Dots for In Vivo Bioimaging through Precise Control of ZnS Shell Thickness

p.10

(Nagoya Univ.¹, QST²) ○Nurmanita Rismaningsih¹, Junya Kubo¹, Kazutaka Akiyoshi¹, Tatsuya Kameyama¹, Hiroshi Yukawa^{1,2}, Yoshinobu Baba^{1,2}, Tsukasa Torimoto¹

15:55-16:10 一般講演 05

錯化剤含有 Zn めっき排水の浄化に向けた錯体分解光触媒複合吸着材の開発 p.11

(名古屋大工¹, 名古屋大院工², ラオス国立大³, 名古屋大未来社会⁴)○熊田 拓海¹,
高柳 春樹², 鈴木 響², プッタヴァーン ワンパサー^{2,3},
パク ジェヒョク³, 萩尾 健史^{2,3}, 市野 良一^{2,3}

～ 休憩 ～

16:30-17:30 招待講演②

アノード酸化の不思議と魅力

北海道大学大学院 工学研究院 教授 菊池 竜也 p.6

17:30-17:40 閉会式 東海支部 支部長 市野 良一

【招待講演】

招待講演①

講演題目：**燃料電池への思い、研究、未来へ**

発表者：川角 昌弥 特任教授（名古屋大学 未来社会創造機構）

<概要>

これまで企業・大学にて固体子分子形燃料電池（PEFC）用材料の研究開発に長年携わってきた。

PEFCの基礎から最新の動向、研究トピックスについて、研究に至る経緯、体験談、未来への展望なども交えて紹介します。

招待講演②

講演題目：**アノード酸化の不思議と魅力**

発表者：菊地 竜也 教授（北海道大学大学院 工学研究院）

<概要>

アルミニウムやチタンなどの金属を電解質水溶液に浸漬してアノード酸化（陽極酸化）すると、ユニークなナノ構造をもつ酸化物が金属表面に生成します。本講演においては、アノード酸化の基礎をわかりやすく説明するとともに、発表者が近年行っているアノード酸化研究の一部をご紹介します。また、若い電気化学研究者のみなさんに、発表者の経験も踏まえたメッセージをお伝えさせていただきたく存じます。